

## 数理・物性構造科学専攻 博士課程後期

### 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 外部研究者との積極的な交流による当該分野の最先端知識の修得を目指す。(DP1)
- CP2 数学・物理学・情報科学の各分野の先端を常にフォローするためのゼミを置く。(DP1、DP2)
- CP3 専門分野に関する研究の進展を図るために指導教員との密接な打ち合せと議論を行う。(DP3、DP5)
- CP4 当該研究分野の現状を正確に認識し研究課題や方向を考察する力を養成する。(DP3、DP4)
- CP5 関連する分野のセミナーや学会等へ参加し積極的な討論が行う力を養成する。(DP2、DP3、DP5)
- CP6 TA やゼミ等を通して大学学部や博士課程前期に在籍する学生を積極的に指導し指導力を養成する。(DP1、DP3、DP5)
- CP7 学会や論文誌等外部への積極的な情報発信力の向上を目指す。(DP4、DP5)
- CP8 TA の業務経験等を通して専門及び関連分野を分かりやすく表現し伝達できる能力の向上を目指す。(DP3、DP5)